



関西いのちの電話



就任あいさつ

関西いのちの電話 事務局長 柴 守昭

2024年4月1日付で事務局長に就任しました。宜しくお願いします。

2024年5月に事務所が移転するため、昨年からの事務局長として、移転作業を手伝って参りました。システムの更新や移転費用捻出の為に募金活動を担当しておりました。

石井前事務局長が2024年3月末日をもって退任するため、事務局の手伝いをしており、状況も分かっているので、私が手を挙げさせて頂きました。手を挙げながらも、事務局長の仕事はどういうものか分かっておらず一抹の不安もありました。

4月1日の就任を迎えましたが5月の移転を控え、あれもしなければこれもしなければと仕事が山積みの状態でありました。

移転日が近づくにつれ、相談員の皆様の手伝いは増え、荷造りが順調に進んでいき、移転の日を迎えることができました。移転後の片付けも相談員の方に手伝っていただき、思いのほか早く終わることができました。皆様に感謝しております。

募金については、初めてクラウドファンディングと言う募金調達の手段をさせていただきました。当初想像していた金額よりはるかに多く、また全国から寄付をしていただきました。そして多くの応援メッセージを頂き驚きとともに皆様に感謝を

致します。

驚いたことにクラウドファンディングができないからと、直接寄付金を送付して頂いた方もいらっしゃり本当に感謝しております。改めていのちの電話の使命を重く感じています。

このように多くの方々に支えて頂きながら、この活動を続けていく責任の重大さを感じています。

しかし、相談者の皆様から「なかなか電話が繋がらない」とのお声を頂いています。このことを解消するには、相談員の確保が第一と考えます。コンサート活動や講演会活動、広報誌の発行を通して、いのちの電話を広くアピールして相談員の獲得につなげたいと思っています。

社会的使命や責任の重さを感じながら、昨年創立50周年をむかえ、この歴史ある活動を足踏みすることが無いよう毎日受話器に向かっております。

移転した新しい地から、全国からの電話相談に相談員一同気持ちも新たに相談活動を始めております。

経験が少ない事務局長ですが、皆様のお力添えをお借りして関西いのちの電話の活動を盛り上げていきたいと考えています。最後に資金援助も併せて皆様のご支援ご協力お願いいたします。

関西いのちの電話 相談電話 (24時間365日) ☎06-6772-1121

自殺予防いのちの電話 毎日(日・祝含む) 16:00~21:00 毎月10日 午前8:00 ~ 翌日午前8:00 ☎0120-783-556

こころを病む人々の声に耳を傾けて…

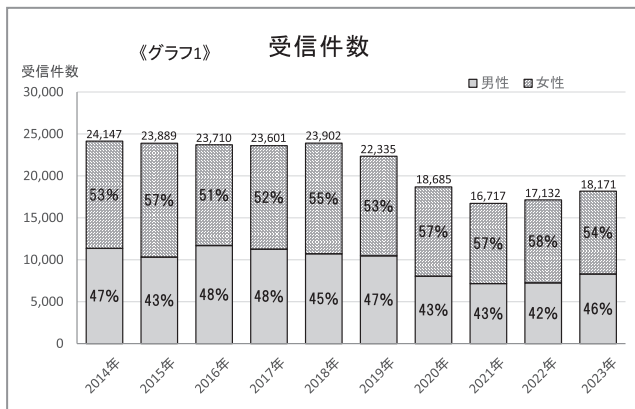
関西いのちの電話 記録分析委員会

2023年の電話相談から見えてくるもの

関西いのちの電話では、毎年、1年間の受信状況について記録分析委員会が統計的分析と相談内容から読み取った傾向について報告をまとめています。

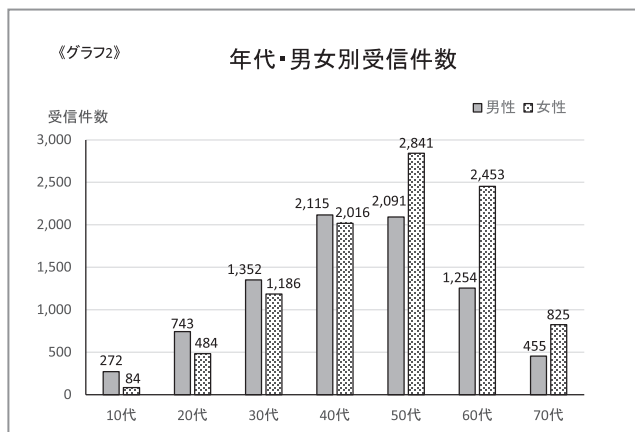
2023年全体を通して

2023年1年間の総受信件数は18,171件。5年前までは23,000件前後で推移していましたが、2020年から減少傾向となりました。しかし2022年は17,132件、2023年では18,171件と増加傾向にあります《グラフ1》。このことは、新型コロナウイ



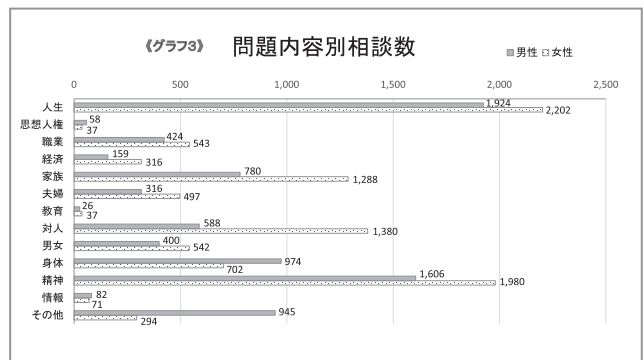
ルスの感染状況が相談員の活動に大きく影響を与え2020年から受信件数が減少していましたが、2022年からはコロナ感染者も減少し、相談員の活動も徐々に以前の状態に戻ってきているものと考えます。実際、2019/20/21/22/23年の月平均担当相談員数は490人/411人/377人/404人/419人となり、相談件数と相談員数は相関関係にあります。

かけ手の男女比では、男性が全体の46%、女性が54%です。また、心の病を持っていると思われる人からの受信件数は10,815件で総受信件数の63.1%でした。

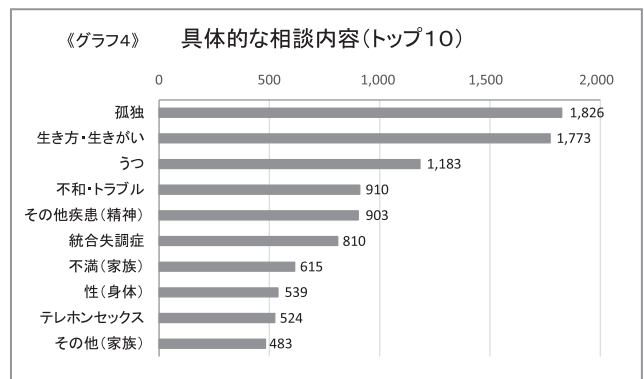


年代・男女別で受信件数を見ると《グラフ2》、男性は40代が最も多く、次に50代、30代と続きます。これらの働き盛りの年代では、心を病み、働けない、あるいは働き辛さ・生き辛さを訴える相談が多いように思われます。

女性は50代が最も多く、次に60代、40代と続きます。50代の女性では、子どもの巣立ちから起こる喪失感、退職した夫との会話のない生活、親の介護の中で人生の展望を見失い心を病んでいく、そして将来への不安など、一気に降り注ぐ生活の変化をこの数字が表しているようです。



問題(相談)内容別では《グラフ3》、「人生」の問題が最も多く、4,126件で23%を占めています。次いで多かったのが心の病の相談である「精神」で3,586件20%でした。

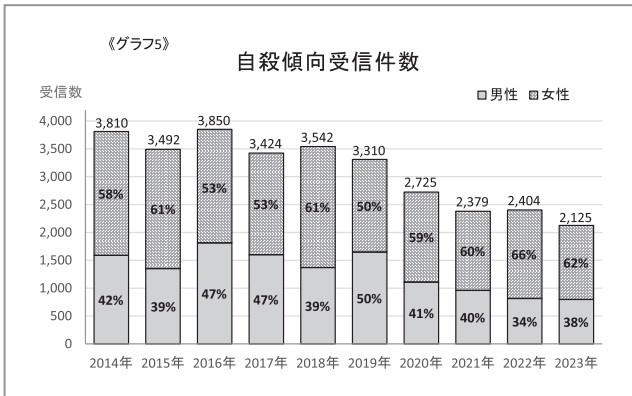


具体的な相談内容の上位10位までをグラフに表しました《グラフ4》。「孤独」を訴える者が1,826件で最も多く、総受信件数の10.0%です。('17年6.5%、'21年11.0%、'22年11.7%)。「孤独」を訴える方は、コロナ禍増加傾向にありましたが、

2023年より減少しています。コロナが終息に向かい、人と人との関りも回復していく中で「孤独」は減少してきているように思います。次に多いのが『何のために生きているのだろう』と「生きがい・生き方」を語る者で1,773件、9.8%でした。その他精神疾患(「うつ」「統合失調症」「その他の精神疾患」)の訴えや、対人関係から起こる「不和・トラブル」の訴えが多くありました。

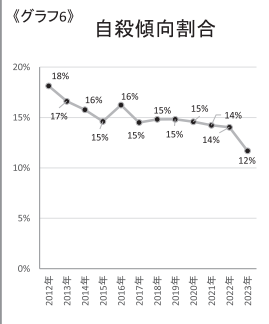
自殺を訴える電話相談

自殺を訴える相談電話(以後「自殺傾向」と記す)の受信件数は2,125件で、年々減少傾向(2014年は3,810件)にあります《グラフ5》。また、総受信件数における自殺傾向の割合は

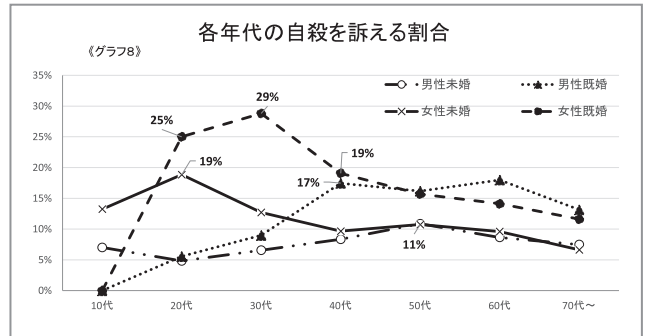
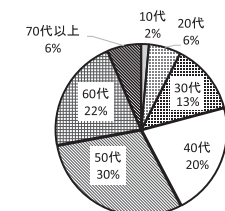


12%で、これも年々減少傾向にあります《グラフ6》。男女の割合は、男性37.6%、女性62.4%と、女性からの訴えが多いです。「自殺傾向」相談電話の年代別《グラフ7》では、50代が最も多く634件(30%)で、次に60代が457件(22%)、40代が455件(20%)という順で、40代・50代・60代が約70%を占めています。また、男女・未既婚別に各年代の受信件数に対する「自殺傾向」の割合を見ると《グラフ8》、最も割合が多いのは女性30代既婚で29%、次に女性20代既婚で25%、次に女性40代既婚19%、女性20代未婚19%でした。若い女性からの受信数は少ないのですが、自殺を訴える方の割合は多く、生きづらさを感じていました。

問題(相談)内容では「うつ」が最も多く14.3%でした。



《グラフ7》 自殺傾向の年代別分布



「うつ」を含む精神疾患(うつ・統合失調症・その他精神疾患など)は27.0%です。次に多いのが「生き方」で14.0%、次が「孤独」で12.3%でした。心を病み、世の中に生き辛さを感じ、孤独に苦しんでいるかけ手の姿が浮かびます。

「自殺傾向」緊急度の内訳は、自殺をほのめかす「念慮」が90%、自殺をしそうな「危険」が7%、自殺の「予告や通告」が2%、「実行中」が1%です。ほとんどの人が「念慮」ですが、今まさに自殺をしようとしている人からの緊急度の高い電話もありました。

怒りの電話

最近の電話相談で、不安な気持ちや苛立ちを抱える人々が増えてきているようです。そしてかけ

「怒り」を訴える電話の割合
調査期間:2023年6月~8月

3か月間の受信数	「怒り」の電話の受信数	「怒り」の電話割合
4,805件	109件	2%

手は、それを激しい「怒り」の感情として相談員にぶつけてきます。「怒り」の電話の多くは、「寂しい」「イライラする」「空しい」「人間が信じられない」「生きるのが辛い」という思いで電話が始まります。そして通話が進むにつれて、「何が解る!」「解ってくれないのか、なんのためにそこに座っているのか!」「相談員の資格がない!」と「怒り」の感情へと変わっていくのです。それでも相談員はそれらの電話に対し真摯に向き合い、怒りの背後にある気持ちを受けとめようと努力するのですが、そのような電話を受信した多くの相談員は、心が傷つきながらも、かけ手が怒ったのは「自分の応答が悪かったからだろうか」「どのように応答したらよいのか」と自問自答を繰り返し、その電話が終わった後も無力感に襲われます。しかしその「怒り」の裏には「解ってもらいたい」「助けてもらいたい」という相談員を求めるかけ手の本当の感情が隠されているのです。私たち相談員は、かけ手の言葉の奥にある気持ちを感じ取る感性を磨くよう自己研鑽をしなければならぬと考えます。

あたたかいご支援ありがとうございます

2024年2月1日～5月31日までに、次の方々から社会福祉法人関西ののちの電話への寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順 敬称略)

【個人】

浅野 敏行	小川 弘二	坂本 千代	菅谷 道子	中西 容子	牧口 望	山口 健一
上坂 和美	金岡 重雄	佐々木千佳子	隅田 保	中野 爲夫	真嵐 理美	山本 廣道
植田 民子	神谷 尚孝	佐治千栄子	竹村 武男	中野 桂子	松下 潤一	匿名 3名
鶴飼奈津子	北之坊皓司	佐藤 祐子	田中 貴子	中村 勝吾	水中 照子	
疇地 道俊	楠木 一正	左藤 章	土井 紀明	新川 久義	ミヤザキヒロシ	
大坂 雅巳	國安 佐知	瀧 成和	道免 逸子	野崎 京子	宮下 弘子	
大津 久直	河内 俊之	澤井 聡子	長尾 智子	原 陽子	八尾 和彦	
岡本 喜子	児島 麻里	柴峠 隆士	永富 美加	藤田 久子	山内 通生	

【団体】

石田クリニック	日本基督教団 大阪教会	日本基督教団 甲子園二葉教会
日本バプテスト 池田キリスト教会	大阪IIソングクラブ	日本基督教団 千里丘教会
日本基督教団 池田五月山教会	松籟庵 有志一同	日本基督教団 高石教会
日本基督教団 石橋教会	カトリック真面教会	直の会
日本聖公会 石橋聖トマス教会	学校法人関西学院 財務課	日本聖公会 東豊中聖ミカエル教会
いのちのコンサート実行委員会	香里ヌヴェール学院 中高生徒職員	匿名 1件

◎他に相談員・理事・評議員・有志などが支えています。

社会福祉法人 関西ののちの電話 第28回チャリティーコンサート

音登夢ピアノトリオ with 若き音楽家たち

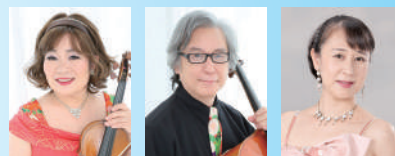
私たちの活動を広く広報すると共に、相談員の募集や組織を支えるための運営資金を皆様にご協力いただくことを目的として、毎年チャリティーコンサートを開催しています。今年は音登夢ピアノトリオさんをお迎えします。「カノン(バッハ)」 「ニューシネマパラダイス」 「情熱大陸」 「チャルダッシュ」等、若き音楽家たちも交えての心温まるコンサートに、皆様どうぞご参加ください。

日時：2024年9月21日(土) 開演14:00(開場13:30)
会場：ドーンセンターホール(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
大阪府中央区大手前1-3-49

出演者：木村直子(ヴァイオリン)・木村政雄(チェロ)・南木優子(ピアノ)
(若き音楽家たち) 難波二奈(ヴァイオリン)・山田夏実(ヴァイオリン)
チケット価格：指定席(A～D列)・自由席共に 前売 大人3500円・小中学生1000円
当日 大人4000円・小中学生1500円
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取り扱い・お問い合わせ：

*指定席のみ チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード271-584)
*自由席のみ 関西ののちの電話 事務局 TEL 06-6795-4860(受付時間 月～金10時～17時)
FAX 06-6795-4861 E-mail kaind@x.age.ne.jp



この広報誌は、令和5年12月に実施された大阪府共同募金会の助成を受けて発行しています。府民(寄付者)のみなさまに感謝いたします。

編集後記

今号の178号は移転後初の広報誌です。移転についてはとてつもない時間と労力を投入しましたが、なんとか無事に移転を完了することができました。ご協力をいただいた方に感謝御礼申し上げます。

さて7月といえば七夕ですが、七夕といえば一年に一度のめぐりあいの日です。移転した新しい場所とはめぐりあいであり、私たちは生きているなかでいろんなめぐりあいを繰り返しています。まためぐりあいには別れも伴うこともあります。電話の向こうの相談者の方々ともめぐりあいであり、必ず別れがあります。

そのめぐりあいと別れの中で非常に濃密な時間を共有することがわれわれの使命です。これからも私たちなりのこの使命を果たすことが社会貢献につながるのだと思います。

(MF)

電話相談受信状況(2024年)

受信月	3月	4月	5月
受信件数	1,387件	1,257件	1,433件
相談員数(延)	420人	366人	394人

社会福祉法人 関西ののちの電話

事務局 〒537-0024 東成鶴橋駅前郵便局
TEL 06-6795-4860
FAX 06-6795-4861

発行人 李清一 編集 広報委員会
ホームページ <https://kaindnew.com>

